

# 面積算定の考え方とスケジュール

## ■規模検討の考え方

本庁舎建替基本構想は、現在使用している執務室の面積を参考として、分散している庁舎を集約した後に想定される延床面積を検討しました。

本庁舎建替基本計画は、基本構想で策定したコンセプト等を具体化するために必要となる面積や、1人あたり執務室面積の基準等を検討し、設計を進める前の段階で設計条件として想定される面積をいくつかの段階で見直しを行いながら検討を進めます。

## ■面積検討のスケジュール



時期	基本構想	基本計画				基本設計	実施設計
	①	②建物ボリューム検討 配置検討	③庁内各課面積等照会 ワークスペース検討	④議会部分面積検討 市民利用部分面積検討	⑤最終まとめ	⑥	⑦
設定条件 (人数)	・収容人数 2,600人	・収容人数 2,600人～3,000人					
(執務室)	・執務室専有面積 37,500㎡	・執務室専有面積 37,500㎡ ・国土交通省基準	・1人あたり執務室面積 の基準				
(関係性)			・階スタッキング検討 (階の部署配置)	・各階ゾーニング案	・各階の動線計画 (職員・市民の動線)	・構造計画 ・各階ゾーニング ・諸室配置 ・建物コア部分面積 (EV・階段・給湯室・ トイレ・設備関係等)	
(執務環境) (働き方)			・執務環境のイメージ (フロアレイアウト) ・共用空間の検討(倉庫、 印刷スペース、打合せ スペース等)		・執務環境のイメージ (執務室のレイアウト)	・執務環境レイアウト (什器等配置計画)	
(駐車場)	・駐車場形式 (地上・地下) (立体)	・駐車場形式 (地上・地下) (立体・自走)					
(敷地計画)	・屋外広場	・屋外広場(屋内広場) ・緑化率 20% ・外部動線計画イメージ		・外部動線計画	・周辺環境 市民広場や敷地周辺 環境の変化に伴う変更		
延べ面積	想定面積① 66,000㎡～	想定面積② 66,000㎡～78,000㎡	想定面積③	想定面積④	想定面積⑤	設計面積⑥	設計面積⑦

## ■延床面積検討の考え方の根拠

